

平成26年度第2回 鹿児島市行政改革推進委員会 概要録

日時：平成27年3月25日（水）10:00～12:00

場所：市役所本館2階 特別会議室

委員意見、事務局回答	
1	○学校の余裕教室の活用について、どのように考えるか。 →学校の利用目的等もある中で、どのように有効活用するか教育委員会とも連携しながら進めてまいりたい。
2	○民間企業等職務経験者の採用について他の職種の採用等について考えはないか。 →近年では弁護士等の採用など専門的な分野での採用を行っており、今後必要な職種については、幅広く検討しなければならないと考えている。
3	○民間力の活用が他に比べて実施率が低い。行革の中でも重点的に取り組むべきものであり、多少取組み方が弱い感じも受ける。 ○民間力の活用という時の民間という言葉を広くとらえれば達成率も他と変わらない。民間力という意味をもう少し広くとらえるべき。 →行政責任の確保に留意しながら民間でできるものについては、民間力を活用するという考え方をもとに進めており、今後についても市民の声も踏まえながら取り組んでまいりたい。
4	○職員提案制度は提案に対してどう考えるかといった視点やどう活用できるかを考えることも大事。さらなる展開を期待したい。
5	○わがまち市役所ボランティア隊は、参加者数で見れば多く見えるが、職員全体に対する割合でみるとどうか。目標値の設定も課題である。
6	○防災資機材の備蓄について、3か年で整備はどういう理由からなのかスピード感を持って取り組む必要があるのではないか。 →支所等については早急に備蓄を行うが、学校等の場合は空き教室の活用など教育委員会との調整に時間を要することから年次的に整備を行うもの。
7	○定員管理について、適正化されたかどうかをどう評価するか。 →毎年度全体の業務量等を見ながら、必要に応じて定数を見直しており、結果として適正化が図られたものと考えている。
8	○数値目標も大事であるが、一方で市民満足度も大事。ハード整備だけでなく、運用の中でも市民サービスを向上させることが必要。
9	○観光農業公園について来園者が伸び悩んでいる実態がある。費用対効果の面で再検討の必要はないか。
10	○民間力の活用では、民間に新たな雇用が生まれたことについても効果として着目すべきである。
11	○市でも嘱託職員等の非正規職員が増えており、これらの方に対するスキルアップも必要である。
12	○保育所の民営化については今後どのように考えるのか。 →現時点では白紙の状況である。